

## ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

| 意見提出元                                     | 沖縄テレビ放送株式会社   |
|---|---|
| 意見項目                                      | 意見内容  |
| (1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放送事業者は、放送もワイヤレスブロードバンドの一つと認識しています。2011年7月24日の放送のアナログ終了により、VHF、UHF帯合わせて、130MHz幅以上の免許を返上したうえで、デジタル放送で、国民の知る権利に応えるべく、番組で情報を提供していきます。番組制作のために、放送局は様々な周波数使用しておりますが、特に770MHz～806MHzはFPUとして（以下800M帯FPUという）、見通しのきかない場所での中継等でも伝搬可能な周波数帯として必須なものとなっています。</li> </ul>  |
| 2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年から平成21年度に実施された「800MHz帯映像素材中継用移動通信システムの高度化のための研究開発」の成果を早期に実用化すべきと考えます。</li> <li>・ 800M帯FPUが高度化されれば、現在の標準画質モードから高精細モードでの使用が可能となり、770MHz～806MHzでの周波数の利用効率向上に大きく寄与すると同時に、伝送画質の向上に期待しています。</li> </ul>  |
| (3) 関連する国内外の動向と課題                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内では、800MHz帯映像FPU、マイクロ波帯FPU、SNG（Satellite News Gathering）を、それらの特徴を適宜生かして、番組制作に使用しています。</li> <li>・ また、国内において800M帯FPUは、全国で1万局以上存在するラジオマイクと周波数を共用しており、ラジオマイクとの調整を効率的に行うことにより、800M帯FPUの運用効率をさらに上げるための検討を継続的に行なっています。</li> <li>・ 沖縄テレビ放送では、800M帯FPUを移動中継の放送システムに組み入れており、800M帯FPUが使用できなくなると、スポーツ中継時にその代替え手段がなく番組制作ができなくなるため、非常に困ることになります。</li> </ul> |
| (4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項 |   |